

20基金合計残高は33億円 町債残高は143億3千万円

◆白老町の財産状況

—基金は4億7千万円増加

まちの財産には、道路や公園、学校、公民館などの公共施設の土地や建物といった公有財産（※表3）と現金や有価証券として保有している基金（※表4）があります。

基金には、年度間の財源調整を目的とした財政調整基金のほか、さまざまな行政需要に使用するための20の特定目的基金があります。それらの基金すべての合計残高は、33億4998万円となっています。

区分	面積・金額
土地	2,315万㎡
建物	13万3千㎡
債権	9,619万円
その他	2億1,697万円

公共施設等整備基金は、公共施設の整備に利用され、令和4年度については町道整備など、道路の

安全・安心に係る事業や、橋梁の長寿命化事業、公園の環境整備、町営・町有住宅の改修などにそれ

表4 主な基金の現在高（現金および有価証券）

区分	令和4年度末	令和3年度末	対前年増減
財政調整基金	125,307	127,181	△1,874
町債管理基金	26,743	7,913	18,830
公共施設等整備基金	53,714	53,245	469
役場庁舎建設基金	35,056	28,055	7,001
ふるさとGENKI応援寄附金基金	34,116	18,204	15,912
介護保険事業基金	12,435	12,966	△531
国民健康保険事業基金	8,349	7,349	1,000
みんなの基金	8,270	8,296	△26
退職金手当追加負担金積立基金	7,028	8,366	△1,338
産業振興基金	4,530	1,429	3,101
体育振興基金	3,411	3,411	0
森林環境譲与税基金	2,957	1,721	1,236
その他基金	13,082	9,097	3,985
合計	334,998	287,233	47,765

※残高は出納整理期間（5月末）までを対象としている（単位：万円）

◆町の借金の状況

—町債残高は7億円8千万円減少
令和4年度末の町債（長期借入

の元気づくりを実現させることを目的とした、各種まちづくり事業に活用しています。

金）の残高（現在高）は表5のとおりです。全会計の合計は143億2917万円となり、うち一般会計87億8422万円、特別会計1億1728万円、企業会計54億2767万円となっています。

町債残高のうち、一般会計で金額がもつとも多いものは、臨時財政対策債（※）の32億4850万円です。次に道路・橋梁の整備や病院改築など幅広い公共施設の整備などに活用している過疎対策事業債（ハード分）の14億7644万円となっています。

前年対比では一般会計の約2億3千万円減をはじめ、全会計で約7億8千万円減と順調に減少しており、今後も計画的な地方債発行により、安定した財政運営に努めていきます。

表5 町債の状況

区分	令和4年度末 (単位:万円)
一般会計	878,422
特 港湾機能施設整備事業	11,728
企 水道事業	98,925
企 病院事業	5,410
企 下水道事業	438,432
合計	1,432,917

（※）国が地方に交付する地方交付税の財源不足分を補てんするため、地方が肩代わりして発行する地方債

問い合わせ先：企画財政課 財政契約グループ ☎82-2714